

事務事業名	真岡市地区教育支援委員会運営交付金				担当	教育委員会 学校教育課 総務係		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名			
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
関連個別計画					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 平成3年度～） <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
法令根拠	真岡市補助金等交付規則							
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	1教育総務費	2事務局費				
事業概要	市内5地区で開催する教育支援委員会に対して、運営補助を行う。交付金額5地区×4,000円=20,000円							

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 真岡市特別支援教育研究会より交付申請書（事業計画書）を提出させ、各地区教育支援委員会の運営支援のための交付金を交付する。 2年度計画 昨年度と同様	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	交付金額	千円	20	20	20	20	20	
	イ	教育支援委員会	回	5	5	5	5	5	
	ウ								
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 5地区の教育支援委員会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	5地区の教育支援委員会の人数	人	54	54	46	46	46	
	イ								
	ウ								
③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 適正な教育支援を行う。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	専門性の高まった教育支援委員会の人数	人	54	54	46	46	46	
	イ								
	ウ								
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 児童の適正な教育支援を図る。	⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)	
	ア	適正な判断をすることができる教育支援委員の割合	%	100	100	100	100	100	
	イ								
	ウ								
(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	0	0	
		一般財源	千円	20	20	20	20	20	
	事業費計(A)		千円	20	20	20	20	20	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1	1	
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4	4	
	トータルコスト(A)+(B)		千円	24	24	24	24	24	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	適正な教育支援を行うために、各地区で組織した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	教育支援委員会に取り上げられる児童・生徒の数は増加してきた。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	